

Contents

1 P. 維新の道

坂崎診療所 内科医 藤永 有理子

3 P. 診療カレンダー&編集後記

2 P. PETベーシックキャンペーンについて

坂崎診療所 診療部長 里田 直樹

4 P. 男性更年期オプション検査

坂崎診療所 所長 戸田 均

維新の道

今年は梅雨の入りが遅れ、清々しい初夏の日を長く過ごせたように思います。

過日、新緑が目にもまぶしく長い階段も苦にならないほど心地よい涼風が吹く中、霊山護国神社のすぐ横にある坂本竜馬(と中岡慎太郎)のお墓参りをしてきました。その墓石は、時を前後して維新に倒れた仲間達のおびただしいほど多数の墓石に守られるように東山の高台にひっそりと建っています。鳥の声や風の音が優しく響くその場所で、竜馬が今も京の都を見守っているのだと思うと、感慨無量で胸がいっぱいになりました。



坂崎診療所 内科医
藤永 有理子

幕末の驚天動地の世にあつて、坂本竜馬は、それまで300年間続いた幕藩制度や厳しい階級制度にとらわれることなく‘人の心’で国をつなぎ、世界に台頭できる強い日本国を創生するために全国各地を駆け巡ったといひます。彼は、徒歩や海路で夜に日を継いで江戸(東京)や京都、長崎~鹿児島を何度も何度も往き来し、勝海舟や(当時幕府に強い影響力を持っていた)長州や薩摩藩の名士達をその人となりで魅了して次々に結びつけました。まさに健脚と健康な身体、強い信念・精神力がなければできない神業です。その偉業は、竜馬が100年以上の後の日本人にこれだけ愛され深い感慨を持って語られることから容易に想像されます。

「竜馬がゆく」(司馬遼太郎著)の中には、竜馬ゆかりの土地、社寺仏閣や旅館(料亭)が多く出てきます。京都市内だけでも大変な数であり、西日本を中心に全国各地に点在しています。今はゆとりのない毎日ですが、いつか竜馬の足跡を一つ一つ追って歩いてみたいものです。そのためにも、普段から少しの時間を見つけてウォーキングやエクササイズで体力を鍛え、自己管理と定期的な健康チェックを行ってその日に備えたいと願っています。

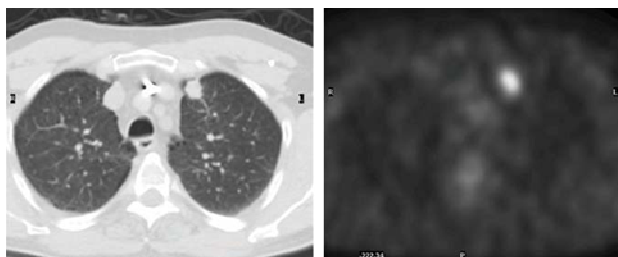


平素より当診療所をお引き立ていただき誠にありがとうございます。現在日本人の死因は、いうまでもなく癌が最上位にあり、臓器別には肺癌の死亡数が2000年に胃癌を抜き去り、現在もなお増加を続けています。また、1975年以降、肺炎が日本人死因の4位で経過しています(平成20年厚労省人口動態調査)。呼吸器疾患は、超音波や内視鏡でスクリーニングをおこなうことは一般的に困難なために、肺疾患の診断は胸部X線や胸部CTなどの画像検査に依存する度合いが高いと考えられます。

当施設では、平成22年7月から9月の期間、人間ドックにおいてPET検診に加えて胸部CT検診を同時にお受けいただく場合に、キャンペーン価格を設定させていただいておりますので、この機会に御利用いただけますと幸いです。詳細につきましては、恐れ入りますがお問い合わせください。

1970年代に、年齢24～92歳の肺癌の症例について、自然経過が検討されています。無治療で経過を見た場合の肺癌5年生存率は、7.0%とされています。(Nou. Cancer 1984)。ここに何らかの治療を加えたとしても、全体の5年生存率は、現在わずか15.7% 前後と報告されています(National Cancer Institute, 2005)。この中で、治療として肺切除術を施行しえた症例の5年生存率は、ステージ全体で52.6%と、いまだ決して良好な治療成績とはいえない現状です。しかし、腫瘍が小型で、リンパ節転移のない早期の肺癌については比較的治療成績は良く、術後5年生存率は72.1% 程度の治療成績が得られています。ただし、早期ステージの肺癌では特異的な症状はほとんどないといえます。もし、このステージから少しでも進行すると、5年生存率は急速に50%未満に落ち込んでしまいます(Goyaら. Lung Cancer 2005)。そのため進行度が早期かそうでないかにより、発見時以降の生存率に大きな差が生じます。したがって肺癌の場合、できるだけ早期に病変を検出することが、生命予後を左右するキーポイントの一つといえるかもしれません。

検診として胸部CTを用いると、胸部X線検査に比べ肺癌の検出率は、3～10倍上昇するといわれています(Henschkeら. Lancet 1999)。こうした胸部CT検査により発見される末梢型肺癌の平均腫瘍径は多くは2cm以下の小型のものが多くとされています(Sobueら. J Clin Oncol 2002)。そのため、健診等での早期発見による、生存期間の延長効果は相当にあると見積もられています(Ikedaら. Ann Thorac Surg 2005)。



(左肺上葉S1+2の原発性肺癌。矢印：肺癌を示す。左図：胸部CT検査、右図：FDG-PET検査、Bunyaviroch T, et al. *J Nucl Med* 2006; 47: 451-469より抜粋)

胸部CTを撮影すると、無症状にもかかわらず何らかの異常陰影が見られる場合は少なくありません。この陰影が充実性部分を伴う場合には、炎症性陰影(肉芽、線維)か腫瘍性陰影かの判定は必ずしも容易ではありません。診断を非侵襲的に行う場合は、喀痰検査や胸部X線・胸部CTによる画像経過観察等を行うこととなりますが、多くのばあい良性か悪性かの徴候をつかむまでには相当の時間を要することとなります。

PETベーシックコース + 胸部CTオプションのキャンペーンを行っています 2/2

一方、PET検査は、病変の形態描出能は高くないものの、腫瘍性病変の糖代謝活動を描出することで悪性度の評価を行い、従来のガリウム・シンチグラフィよりも診断精度は優れているとされます。また、頭頸部から大腿にわたる体幹部を全体的に描出するために、症状を伴わない臓器・組織の病変を予想外に見出すことがあります。一般に、偶発的に発見された腫瘍性病変は治療成績が高い傾向にあると考えられていますが、現在、無症状あるいは偶発性病変のスクリーニングとしてFDG-PETを用いることは、保険制度上の制限があります。胸部CT上にて異常陰影を検出された場合、PET検査は今後の管理方針にかかわる重要な情報を補うことのできる検査といえます。年齢、喫煙歴、生活環境など総合的な判断が必要ですが、一般的にはPET検査での肺腫瘍への悪性を示唆する有意な集積(標準化集積値、SUV)は、2.5以上とされています(敏感度97%、特異度82%; Bunyaviroch T, et al. *J Nucl Med* 2006; 47: 451-469)が、実際の診療上は、有意とはいえ淡い集積であっても、胸部CT画像上の特徴が新生物と矛盾しない所見であれば、侵襲的な検査を含む専門的な判断が要求されることが多いといえます。

癌死亡数年次推移の統計に基づくと、一般の方の中には、無症状ながら肺癌、あるいは他の臓器の癌のことが気になるという潜在的な要求が存在すると予測されます。今回のキャンペーンがそうした要求に少しでもお役に立つことができれば幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

	日曜診療：(画像検査のみ)		土曜PET診療
	日曜診療：(ドック・画像検査)		休診日

2010年 7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2010年 8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2010年 9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※日曜診療(画像検査)は日程が変更になる場合がございます。

オンラインモダリティ予約

■当診療所へ検査をご依頼頂いている先生方へ。

インターネットにて24時間検査予約ができます!

インターネットにて当クリニックの高度医療機器(MRI、CT、PET)の空き状況を確認していただきながら検査をご予約して頂けるシステムです。

ご登録は <http://www.sakazaki-clinic.jp/> にアクセスして頂き、右下の  をクリックして下さい。

オンラインモダリティ予約のログイン画面にある、[オンラインモダリティ予約申込書](#)をダウンロードし、必要事項をご記入の上FAX:075-823-3200まで申込書をご送付下さい。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。
E-mail:support@sakazakiclinic.jp

—編集後記—

本格的な夏となり暑い季節がやってきました。夏の風物詩、祇園祭も始まり市内は祭り一色に染まり始めました。祇園囃子の鉦と笛、太鼓の音が鳴り響く中、露店も建ち並び、提灯の灯りが情緒深い、宵々山、宵山、山鉦巡行と祭りの雰囲気満喫してきました。

暑さはこれから本番です。炎天に負けず元氣な夏をお過ごしください。

祭り好きの私にとっても熱い季節ははじまります…

男性更年期オプション検査がはじまりました！

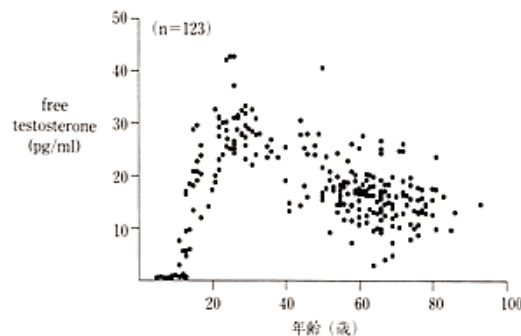
坂崎診療所 所長 戸田 均

<はじめに>

更年期というと女性特有の病態と思われがちですが、実は男性にも更年期があります。残念ながらそれに気づかず苦しんでいる人が多数おられるのです。そこで、坂崎診療所ではドックのオプション検査として、男性更年期障害の判定を開始しました。

<男性更年期障害とは>

男性更年期障害は年齢とともに男性ホルモンが徐々に低下する(下図参照)ことによって、様々な症状が現れる疾患です。発症にはこの年齢の男性に多い様々なストレスも大きく関与していると考えられています。男性ホルモンの値には個人差があり、また、同じ男性ホルモンの値でも症状の出る人も出ない人もあります。どのような男性で更年期障害が発症するか、まだ明らかではありませんが、最近、京都府立医大内分泌糖尿病科の福井道明講師らの研究によって、糖尿病やメタボリックシンドロームの人で男性ホルモンが低下しやすいということがわかってきました。



加齢に伴う血中遊離テストステロンの変化



<男性更年期障害の症状>

患者さんの多くは45歳から65歳位の男性で、次のような症状を訴えます。但し、男性更年期障害以外の病気でもこれらの症状が出ることもあり、診断には血液検査などの結果をみて、慎重に判断する必要があります。

1. 男性性腺機能障害: 勃起障害、性欲低下など
2. 精神神経障害: 気分がめげる、やる気が出ないなどのうつ的症状、不眠など
3. 自律神経失調症状、身体症状: のぼせ、発汗、動悸、息切れ、しびれ、めまい、筋力低下、肩こり、筋肉痛、腰痛など

<男性更年期障害の診断>

診断は下記のように自覚症状を正しく把握することと、男性ホルモン値を測定することによって行われますが、他の疾患を除外することも大切です。

1. 症状の内容とその強さなどを把握するため、いくつかの問診票(睡眠、うつ病チェック、勃起機能、排尿障害、男性更年期)に記入する。
2. 男性ホルモン(遊離テストステロンとDHEA-S)を測定する。

<男性更年期障害が疑われたら>

当診療所のドックオプション検査の結果(問診票の判定と男性ホルモンの値)から、専門医受診が必要と判断された場合は京都府立医大付属病院を中心とした医療機関の男性更年期外来を紹介いたします。男性ホルモン補充療法によって、劇的に症状が改善する方もおられます。

思い当たるところのある人、気になる人は是非、一度、当診療所のドックとともに男性更年期オプション検査をお受けください。

